

Promega Notes 90 アブストラクト

Plexor™ Technology : リアルタイムPCRのための新しいアプローチ

PCRの機能性は、精度、感度、再現性を伴ったDNAサンプルの定量技術により飛躍的に向上しました。これら“リアルタイムPCR”または“定量的PCR (qPCR)”の技術は、対数期における各サイクルごとのPCR産物検出能力に依存しています。ここでは、高感度で特異性の高い定量をたった2つのプライマーで実現できる新規なリアルタイムPCR技術 Plexor™ 技術についてご説明いたします。
Full Text → http://www.promega.com/pnotes/90/12727_02/12727_02.pdf

Pronto!™ Plus Systems : 最適なマイクロアレイ実験を行うための新しい試薬システム

プロメガ社およびコーニング社は、マイクロアレイ解析で使用する統合された試薬セットを提供する2つのシステムを開発しました。Pronto!™ Plus Direct SystemはCy® 標識dCTPを直接組み込む蛍光cDNA作製のための試薬を供給します。Pronto!™ Plus Indirect Systemではアミノアルシル修飾したcDNAを合成した後にCyDye™ NHSエステルを組み込むことにより蛍光cDNAを作製します。様々なソースからインタクトなTotal RNAを精製するSV Total RNA Isolation Systemが含まれるシステムもお選びいただけます。
Full Text → http://www.promega.com/pnotes/90/12727_05/12727_05.pdf

生細胞におけるウミシイタケルシフェラーゼ発光の測定

ViviRen™ およびEnduRen™ Live Cell Substrateは生細胞でウミシイタケルシフェラーゼを測定するために開発されており、セレンテラジンやセレンテラジン-hよりもシンプル、高感度に測定することが可能です。ViviRen™ Substrateは非常に明るい発光を生じ、セレンテラジンに比べ約3倍程度の発光レベルを示します。EnduRen™ Substrateは非常に安定な光を生成し続けるため、24時間以上にわたるインキュベーションを行いながらその間に複数回繰り返して測定することができます。両基質はCellTiter-Glo® Reagentと組み合わせることにより、生細胞数で補正することができます。また、Chroma-Luc™ Red Luciferaseと併用すれば、生細胞数またはトランスフェクション効率による補正を行うことができます。
[本誌10ページ参照] Full Text → http://www.promega.com/pnotes/90/12727_10/12727_10.pdf

HisLink™ 96 Protein Purification System : ポリヒスチジンタグ Hisタグ タンパク質の迅速な精製

HisLink™ 96 Protein Purification Systemは1mlの培養液からHisタグ融合タンパク質を効率的に精製する吸引フォーマットを採用したシステムです。本システムは培養した細菌、昆虫、哺乳動物細胞から直接Hisタグ融合タンパク質を精製することができ、培養物やレジンの前処理は不要です。これらの前処理を省くことにより、自動化が容易になり、迅速なスクリーニングプロセスに適した頑健な精製法を提供することができます。
[本誌6ページ参照] Full Text → http://www.promega.com/pnotes/90/12727_15/12727_15.pdf

タンパク質収量が増加した Wheat Germ Extract Plus

本稿では複数のタンパク質をコードする様々な転写産物を用いて、Wheat Germ Extract Plusと従来法 (Wheat Germ Extract) を用いた場合のタンパク質収量について社内比較を行いました。その結果、Wheat Germ Extract Plusを用いることにより最大22倍の収量が得られました。また、最適な鋳型mRNAを合成するために2つの新しいWheat Germ Flexi® Vectorを組み合わせることもできます。
[本誌3ページ参照] Full Text → http://www.promega.com/pnotes/90/12727_19/12727_19.pdf

MagneSil® Genomic, Large Volume System : 大量サンプルからのゲノムDNA精製

MagneSil® Genomic, Large Volume Systemは、サンプルボリューム1~10mlを処理可能なゲノムDNA精製システムで、スケールの変更、自動化を実現することができます。塩析、有機抽出、液相分離による従来法とは異なり、MagneSil® Genomic, Large Volume Systemは、直接的な溶解、結合、洗浄、溶出を行うシンプル、頑健な方法で、不適切に取り扱われた血液サンプルも含め様々な血液サンプルからゲノムDNAを精製することができます。
Full Text → http://www.promega.com/pnotes/90/12727_22/12727_22.pdf

生物発光レポーター遺伝子を利用したbcr/abl 遺伝子に対するRNAiのためのshRNA標的サイトの最適化

哺乳動物細胞を用いて標的遺伝子発現を抑制する場合、全てのshRNAが同等に機能するわけではありません。そのため、特定の標的遺伝子配列に対するRNAiを誘導する最も効果的なshRNA配列を迅速、簡便に同定することは非常に重要です。2種類の発光レポーター遺伝子を持つpsiCHECK™-2 Vectorは、bcr/abl遺伝子に対するRNAiを誘導する最も効果的なshRNAを同定するために使用されました。テストされた7種類のshRNAは、T7 RiboMAX™ Express RNAi Systemを用いて作製されました。
[本誌15ページ参照] Full Text → http://www.promega.com/pnotes/90/12727_26/12727_26.pdf

Drosophila S2細胞におけるRNAi : dsRNAのサイズ、濃度および暴露時間の影響

今回、Drosophila Erk-A遺伝子を鋳型とした様々なサイズの2本鎖RNAを作製するためにT7 RiboMAX™ Express RNAi Systemを使用しました。Drosophila S2細胞でのErk-A遺伝子発現のRNAiに対するdsRNAのサイズ、濃度、暴露時間の影響について考察しました。
Full Text → http://www.promega.com/pnotes/90/12727_29/12727_29.pdf

Citation : Wizard® Genomic DNA Purification Kit

様々な菌種からのゲノムDNA精製にWizard® Genomic DNA Purification Kitを用いた代表的な文献をリストアップ。
Full Text → http://www.promega.com/pnotes/90/12727_31/12727_31.pdf